

目標達成!! これまで以上のごみ分別徹底と資源物量の増加にご協力をお願いします



町では、平成15年度の焼却ごみ量(8,043トン)に対し、平成27年度にはその30%減量(5,630トン)を目標に焼却ごみ量の減量推進に取り組んでいます。町民の皆さん一人ひとりのご協力と、ごみ減量の意識の高さで、平成23年度の焼却ごみ量は5,607トンとなり、目標値を下回ることが出来ました。今後も、焼却ごみ量を増やさない様に、再利用できる資源物は焼却ごみから除いて分別するなど、分別の徹底をしていただき、焼却ごみの減量と資源物量の増加にご協力をお願いします。

○ごみ収集量と処理経費

平成23年度は平成22年度と比較し、皆さんのご協力により、町民1人当たり年間約60キロのごみの減量ができました。

		平成23年度	平成22年度
種類別の収集量	焼却ごみ	5,607,490 kg	6,886,860 kg
	埋立ごみ	50,510 kg	116,940 kg
	資源物	1,312,816 kg	1,410,056 kg
合計		6,970,816 kg	8,413,856 kg
1日の平均量	焼却ごみ	15,321 kg	18,868 kg
	埋立ごみ	138 kg	320 kg
	資源物	3,587 kg	3,863 kg
ごみ処理経費		265,311,251 円	226,632,838 円
住基人口		21,648 人	21,774 人
町民1人当たり	年間ごみ排出量	322 kg	386 kg
	年間処理負担額	12,256 円	10,408 円

※「1日の平均」は、平成23年度は366日、平成22年度は365日で割った量です。
 ※「ごみ処理経費」は人件費を除く塵芥処理費です。
 ※「住基人口」は、各年度10月1日時点の人口です。

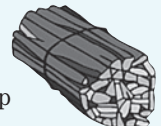
○焼却灰等の処分委託料

これまで、ごみを焼却した灰や埋立ごみは岡谷市の最終処分場で埋立てをお願いしていましたが、平成23年度から焼却灰の一部を群馬県にある民間施設での埋立てを始めました。

		平成23年度	平成22年度
岡谷市	埋立ごみ	68,430 kg	98,140 kg
	焼却灰	543,830 kg	760,770 kg
民間施設	焼却灰	40,740 kg	
	処理量計	653,000 kg	858,910 kg

清掃センターでは、町内から収集した剪定木を薪やチップに加工しています。無料でお分けしていますので、ご希望の方は清掃センターまでご連絡下さい。

【清掃センター】
 電話/FAX：27-9240
 E-mail：seiso@town.shimosuwa.lg.jp



○資源物収集量

平成23年度までの収集量から、これまで焼却ごみとして捨ててしまっていた3種目「雑古紙」「古布」「生ごみ」の収集量をさらに増やすことを大きな目標にしたいと思います。

普段何気なく捨てているお菓子や日用品の紙箱などは「雑古紙」に分別するなど、焼却ごみの減量とともに、資源物の分別にご協力下さい。

また「古布」として収集している衣類や、タオル・シーツ・毛布などは、古着やウエスなどにリサイクルされますので、焼却ごみとしてではなく月例の毎月第1日曜日に出してください。

「生ごみ」は、「生ごみ減容リサイクル事業」により、赤砂崎の生ごみ減容リサイクルセンターで減容処理しています。詳しくは、役場住民環境課生活環境係までお問い合わせください。

	平成23年度	平成22年度	
アルミ缶	15,658 kg	20,260 kg	
スチール缶	29,109 kg	35,990 kg	
無色ビン	63,580 kg	81,300 kg	
茶色ビン	52,348 kg	62,880 kg	
その他の色ビン	23,941 kg	28,430 kg	
ペットボトル	19,605 kg	23,510 kg	
白色トレイ	1,146 kg	820 kg	
発泡スチロール・色トレイ	3,541 kg	4,840 kg	
廃乾電池・蛍光管・電球	9,855 kg	10,990 kg	
金属類	54,077 kg	118,760 kg	
硬質プラスチック	15,830 kg	9,440 kg	
剪定木	26,790 kg	12,730 kg	
草・葉	16,750 kg	29,180 kg	
紙類	古新聞	353,820 kg	397,010 kg
	古雑誌	195,020 kg	172,640 kg
	段ボール	108,320 kg	121,050 kg
	紙パック	900 kg	970 kg
	雑古紙	71,360 kg	85,605 kg
	シュレッダー紙	1,420 kg	1,190 kg
古布	3,710 kg	1,460 kg	
生ごみ処理量(参加世帯数)	246,036 kg (1,631 世帯)	191,001 kg (1,518 世帯)	
合計	1,312,816 kg	1,410,056 kg	

資源物は「捨てればごみ、活かせば資源」となりますので、これまで以上の分別にご協力ください。

町制施行119周年

町政功労者表彰

町制施行119周年(明治26年6月30日町制施行)にあたる6月30日(土)、町政功労者表彰式が行われ、多年にわたり町の発展にご尽力された6人と1団体に功労章、多額の寄附をされた1企業とご夫妻に褒章が贈られました。



—町政発展を支えた多大な功績に感謝申し上げます—

教育長、社会教育委員をはじめ、現在も島本赤彦研究会長を務められるなど、多年にわたり町の教育行政に多大なる貢献をされました。



おぐち あきら
小口 明 様
南高木

NPO下諏訪町体育協会会長を退かれるまでの間、生涯スポーツの振興に尽力され、多年にわたり町の体育行政に多大なる貢献をされました。



おの えいざく
大野 榮作 様
御田町

文化財専門委員を十六年以上務められるなど、多年にわたり町の教育行政に多大なる貢献をされました。



いとう せいじ
伊東 才治 様
武居南

〈功労章〉

文化財専門委員を二十六年以上務められるなど、多年にわたり町の教育行政に多大なる貢献をされました。



なかむら しんいち
中村 心一 様
大門2

民生委員を四期務められ、併せて富部ボランティアグループの発足、会長を務められるなど、町の福祉行政に多大なる貢献をされました。



かさい
河面 しげる 様
東豊

十四年間にわたり消防団長を務められるなど、多年にわたり町民の安心と安全に多大なる尽力をされました。



おうえ たけし
尾上 武 様
東赤砂

一般寄附として、多額な寄附をされました。



たなか まさゆき え
田中 正幸・かず江 様
矢木町

一般寄附。創立五十周年を記念して、多額な寄附をされました。



きょうりつ けいすけ
共立継器(株) 様
西鷹野町

取締役社長：宮川 昭二 様

〈褒章〉

昭和三十一年から自主ボランティアグループとして活動され、平成二十三年で休団となるまでの間、青少年の健全育成に寄与されました。



日本ボーイスカウト
下諏訪第1団 様
代表：木下 昭男 様